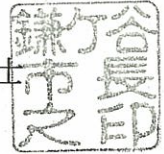




鎌道河建第268号
平成20年10月28日

国土交通省道路局長 様

鎌ヶ谷市長 清水 聖士



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

千葉県鎌ヶ谷市

現在の道路事情を考えますと、自動車交通需要が急激に増加しております。このため、道路整備に重点を置き、自動車交通の利便性の向上や交通渋滞の緩和を目指し、これに対応すべく、道路整備を進めてまいりました。

今後は、少子高齢化社会に対応した、交通安全及び環境保全並びにバリアフリーに対応した道路整備が、より一層求められております。したがって、健常者及び交通弱者並びに将来を担う子どもたちを含めた全ての人が日常安心して利用できるような道路整備が強く求められております。そのためには、道路整備の計画の段階から、地域の現状を把握し、また、地域住民の意見、要望等も十分取り入れ、道路の整備をすすめることが、地域の活性化や地域の賑わいに繋がっていくものと考えます。

○現状

道路整備は、産業活動や通勤、通学、買物などの日常生活を支えるうえで根幹的な都市基盤として、重要な役割を担っております。

本市の道路網体系は、広域幹線である国道464号と県道3路線が市内を縦横に走っており、これを主軸とし、都市計画道路及び主要な市道が補完する形で形成されています。

国道及び県道は、通過車両が多く、交差点や踏切で交通渋滞が多発し、騒音・振動・排気ガスなどで沿道市街地の生活環境を悪化させています。また、本市は急速に都市化が進んだこともあり、道路幅員の不足、歩道や安全施設などの未整備箇所が多く残り広域幹線道路としての機能向上のため一層の整備促進が必要です。

○課題

都市の骨格をなす都市計画道路は急激な都市化の流れに対して整備が追いつけない状況であり、機能的な道路ネットワークを形成するまでには至っていません。道路交通の円滑化、体系化のため、都市計画道路の整備が不可欠であり、市街地整備事業などとの効果的な連携を図りながら推進していく必要があります。

この他の市道についても、道路幅員や歩道、排水施設などの整備が十分でないこと、生活道路への通り抜け車両の進入なども多々あり、歩行者の安全や地域交通が阻害され、生活環境に影響を及ぼしておりますことから、これらを解消するためのきめ細かな対応が求められます。

今後は、防災や都市景観への配慮とともに、ユニバーサルデザインが求められます。

②-2 地域の目指すべき将来像

将来の鎌ヶ谷市の都市イメージとしては、「千葉県東葛飾地域の新たな中心的都市づくりを目指した、緑とふれあいのあるまち」と位置づけております。また、東京と成田の中間に位置していることから、立地する可能性が高い機能として、住宅機能、業務機能、流通機能の確立を目指します。

なお、本市域内においては、中心市街地の交通流の円滑化を図るため、通過交通を排除すべく、外郭環状道路の整備及び鉄道駅へのアクセスを向上させる交通結節点の整備に努めます。

安全で快適なうるおいある道路空間の形成を図るため、道路の緑化・コミュニティ道路などの整備を推進します。

道路の環境づくりはユニバーサルデザインの視点から、歩道と車道の分離や段差の解消、気軽に休憩できるポケットパークや小スペースなどの設置、交差点の改良などに努めます。

道路の維持管理を的確に行い、市民要望に対して、迅速な対応に努めます。

道路の緑化、美化活動などへの市民参加を提案し、地域の活性化につなげていきます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

千葉県鎌ケ谷市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	松戸市から鎌ケ谷市・千葉ニュータウンを経て成田市に至る国道464号については、鎌ケ谷消防署前の主要地方道船橋・我孫子線との交差点から東側が平成17年に4車線化(片側2車線)により開通しております。 このことから、通過交通が増加し、鎌ケ谷市内の渋滞が慢性化しており、市民生活に大きな支障を来しておりますことから、北千葉道路の整備促進が不可欠である。	本路線は、東京と成田空港を結ぶ広域幹線であり、自動車交通需要に対応するだけでなく、経済活動の活性化や成田空港への利便性向上にも重要な道路であり、また、鎌ケ谷市の交通渋滞を解消するために欠かすことのできない道路と考えております。	現在、北千葉道路の延伸が事業化されるまでの間、これを補完するバイパス線整備の早期完成を目指し、千葉県に協力して事業を進めております。
・都市交通の快適性、利便性の向上	本市の良好な市街地形成(まちづくり)を図るためには、慢性的な交通渋滞を招いている踏切部の解消が課題となっており、新京成線連続立体交差事業の整備促進が不可欠である。	踏切部の解消により、円滑な交通流の確保や良好なまちづくりの形成、地域と一体となる高架下利用の促進が期待されます。	
・国際競争力の強化のための交通サービスの向上	東京都心と成田空港を結ぶ北千葉道路の早期整備。	東アジア経済が台頭するなかで、国際競争力を高めるため、物流機能の迅速かつ効率化により低コスト構造が期待されます。 また、近年急増している海外旅行客の成田到着からの移動時間の短縮を図ることで、イメージアップ、ひいては海外旅行客のさらなる増加が期待できます。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	歩行者の安全・安心・快適を確保する、トランジットモール、くらしのみち、あんしん歩行エリアの拡充。	幹線道路と非幹線道路を明確にし、非幹線道路においては、自動車交通の排除と歩行者等中心の空間の確保が期待されます。	